

第1223号

株式会社 茨城木材相互市場

2021

# 那珂川NEWS 11

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

コロナ禍、ウッドショック、そしてベニヤショック？  
これからどうなる合板市況！

## ■南洋材輸入合板

旧来からの違法伐採の制限による丸太不足による原木価格上昇とコロナ禍における船賃の高騰、ロックダウンによる生産減で、慢性的なコストUPと品不足がつづいている状況です。特にインドネシア産合板の急騰が止まらずマレーシア産合板も過去に経験のない価格帯へ上昇しております。

9月からは雨季に入り始め今後ますます原木丸太の手当確保が厳しくなり、生産量の改善は今後も見られないと思われま。国内への輸入量も現状以上に悪化する可能性があります。

年末・年度末に向けて非住宅物件の増加に伴い合板需要も増えると予想されます(特にラワン 3mm 4mm 5.5mm、シナベニヤ 4mm 5.5mmなど)。今後今以上に現場では困窮すると思われまので樹種変更等の準備をしておく必要があると思われま。

## ■国産針葉樹合板

8月に盆休みに伴う稼働停止(各工場のメンテナンス)があり、9月にかけての引き合いが多く8月は出荷量(24.5万㎡)が生産量(23.3万㎡)を上回り、在庫を圧迫(在庫量9.2万㎡)し供給不足が9月に入り顕著になっております。

また、ウッドショックによるレッドウッド、ホワイトウッドからの国産材への樹種変更で、原料の杉・唐松丸太の取り合いが起こり丸太原木の高騰と品不足状態が続き、製品の増産・在庫の積み増しも出来ず供給不足になっております。また、このような状況で仮需が発生し商社・メーカーへのオーダー増により供給元主導で現場優先の対応を取っている状況です。プレカット工場によっては合板不足による受注制限を実施始めた工場が出始めております。

12mm 1500円/枚 24mm 3000円/枚まで値上がりが見込まれ、需要旺盛で来年の春先まで値上がり・出荷困難な状況は続きそうです。また、28mm、24mm、9mmにつきましても生産が遅れている状況です。今後もこの流れが改善するのが難しい状況で、輸入合板及び国内針葉樹合板とも、材料不足とコストUPはまだまだ続いて行くと思われま。皆様と一緒に情報の共有を行いながらご迷惑をおかけしないよう対応していきたいと思われま。

## ■わたしたちの使命 (SDGs) (茨城木材の社会的役割)

「消費と生産を結び価値ある架け橋」となる  
一循環型地域環境の創造

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



全社を挙げての大総力祭！  
年間最大のセリ市!!「木材まつり」  
11月16日(火)開催します！

昼食 11:30～ セリ開始 12:30～

### イベント内容



#### ●木材

①現金大抽選会

特賞1万円が3本！

一等5千円2本！二等3千円5本が当たります！

②茨城県産材抽選会

茨城県特産物が当たる!!



#### ●輸入材

「現金抽選会」

今回は輸入材でも現金抽選会を開催！

特賞1万円が1本！

一等5千円2本！二等3千円3本が当たります！

当日セリコーナーにてお買い上げのお客様が対象です！

#### ●建材 「特価品販売コーナー」

### 同時開催

第44回茨城県木材まつり優良木材コンクール

(主催:茨城県木材協同組合連合会)

\*「農林水産大臣賞」受賞製品他展示

ご来市の皆様にもれなく記念品を御進呈!!

皆様のご来市をお待ちしております!!

株式会社茨城木材相互市場  
協賛:茨城県産材推進協議会



## 〔市日予定〕

〈本 社〉	〈つくば〉
11月16日(火) 記念市	11月4日(木) 記念市 18日(木) 記念市

11/16(火)  
年間最大の記念市  
木材まつり